

地域福祉を推進しよう ♪ ～支え合う一人ひとりが主人公～ ♪

問い合わせ 福祉課 福祉政策係(☎内線363)

地域福祉の推進のために地域でさまざまな取り組みが行われています。
今回は、多世代交流カフェの取り組み事例をご紹介します。

多世代交流カフェ HOMEかふえ

活動内容

筑紫女学園大学には、毎月1回木曜日に地域の子どもから高齢者まで、全世代が集まる場所があります。その名も「HOMEかふえ」。学生ボランティアが社会福祉法人との共催で企画・運営を行っている、多世代交流の場です。

だれでも無料で参加でき、飲み物を片手に参加者同士が楽しい時間を過ごしています。また、学内サークルや学外の団体・事業所とコラボし、参加者が楽しめるさまざまな企画も行われています。



インタビュー当日の様子

自分の人生で大切にしたいことを話し合う「もしバナゲーム」が開催。参加者と学生が、自分の人生観について語り合っていました。また、セラピューティックケアの体験も行われました。

参加者からは、「若い人が考えていることを知れた」「多世代の人と接する機会があってありがたい」という声が聞かれました。ゲームをとおして参加者同士が打ち解け、談笑する姿が印象的でした。



今後の開催日：1月9日(木)、2月13日(木)、3月12日(木) 午後2時30分～4時30分
開催場所：筑紫女学園大学7号館1階カフェテリア

ほかにもさまざまな団体が、特性を生かしながら地域福祉活動に取り組んでいます。